

大阪維新の会 大阪府議会議員の府政報告

災害対策に 全力で取り組む

おかざわ けんじ

岡沢 健二

大阪維新の会府議会議員団では、来年度の事業計画・予算編成に向けての提言と「府民の安全・安心を守る」ための緊急提言を、8月3日、松井一郎知事に提出しました。

なかつか ひろし

中司 宏

知事への提言

大阪の成長に向けて 災害に強い都市・大阪の確立へ

G20サミット首脳会議の開催準備や万博、I Rの誘致など大阪の成長を決定づける非常に重要な年であることから、成長の果実を生み出す挑戦を続けるとともに、水道や消防の広域化をはじめとした行政の最適化・効率化を推進し、その果実の再分配等により、府民の安全・安心及びサービスの向上を目指すため次の事項を提言しました。

- G20サミット首脳会議の受け入れ体制
- 2025万国博覧会の大阪誘致
- 統合型リゾート(I R)の推進
- 関西・大阪の高速道路ネットワーク
- リニア中央・北陸両新幹線の早期全線開業
- 府内市町村の合併と広域連携の促進
- 健康寿命の延伸(国保改革等)
- ギャンブル等依存症対策
- 「子どもの貧困」に対する横断的な取り組み
- 猛暑災害から府民を守る対策の推進
- 府域一水道の実現
- ヒートアイランド対策 など

また今後、大阪府では南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震等が近い将来高い確率で発生することが予測されており、今回の教訓を生かし犠牲者ゼロに向けたハード・ソフト両面での対策を早急に実施していく必要があるとの観点から、右の事項を提言しました。

- 出勤・帰宅困難者対策
- 自主防災組織としての自治会等地元組織との連携
- 大規模災害時の渋滞対策(相乗り特例等)
- 災害時の職員参集体制の検証
- 災害弱者対策の観点からの防災対策の見直し
- 大阪消防庁・ハイパーレスキュー隊の創設
- ブロック塀の安全対策 など

府市意見交換会 淀川新大橋へのアクセス道路拡幅を強く要望

大阪維新の会府議団では、毎年、次年度の府の事業計画策定に向けて、府の担当者と府内各市町村との意見交換会を実施しています。9月12日には、枚方市との意見交換会を行い、枚方市選出の岡沢健二府議会議員と中司宏府議会議員が出席しました。

伏見市長ら市幹部から府政の諸課題にかかる28項目の要望があり、このうち重点項目の各事業に関して府側から取り組み状況を聴取し、市側と意見交換を行いました。

これまでから、広域交通ネットワークの整備の一環として、平成32年度から事業着手予定の(仮称)淀川新大橋の整備の事業促進について強く申し入れています。これに関連し、アクセス道路となる府道京都守口線の拡幅や、府道枚方高槻線の拡幅及び安全対策について早期に対応するよう強く求めました。

今後も引き続き、府とのパイプ役として、市政を応援する立場から、府議会でも実現に向けて強力に働きかけていきます。



府市意見交換会

- 大阪北部地震にかかる支援等について
- 穂谷川の河川改修工事について
- 京阪本線連続立体交差事業に伴う再開発事業について
- 広域交通ネットワークの整備について
- 加配教員の配置について
- 学習指導の一層の充実を図るための人員配置に対する財政措置について
- 児童虐待防止について

岡沢けんじ・中司 宏の府政報告 (つづき)

大阪北部地震・台風21号への対応 災害対応について市に要望書を提出



市への要望書提出

今年、6月に大阪北部地震が発生して以降、西日本の豪雨災害、全国的な猛暑、台風21号、北海道地震と立て続けに災害が発生しました。継続的な被災者支援を行っていくことはもちろんですが、今後、南海トラフ地震をはじめとする大規模な災害に備えるため、防災体制の強化は急務であり、今回の教訓を今後の市の総合的な災害対策に生かしていく必要があります。

今回、被災現場や避難所等でお聞きしたご意見をもとに、大阪北部地震と台風21号に関する枚方市の対応について、伏見隆市長に要望書を提出しました。特に重要な項目について緊急要望し、制度の拡充や予算措置を求めました。

度重なる災害発生に多くの被害が出ている中、府及び市の災害対策に被災地としての教訓を生かし、災害に強いまちに向けて全力で取り組んでいきます。

重点要望項目

- 公共施設における安全点検の実施
- ブロック塀等の撤去・改修への支援
- 市民への情報発信の在り方
- 被災者相談体制の拡充
- 一部損壊住宅への支援
- 耐震診断・耐震改修補助制度の拡充
- 民間事業者・各種団体との連携
- 災害対応における縦割りの解消
- 地域との協働の推進
- 倒木等災害ごみの早期撤去
- 道路の通行に関する早期正常化 など

大阪府議会9月定例会 (前半)

大阪維新の会 大阪府議会議員団の府政報告

災害復旧に130億円

松井知事提出の補正予算案が可決

大阪府北部地震、集中豪雨、台風21号の被災者等に府が支援

健康づくり推進条例を制定 全国で8番目

府民の健康教育の充実や食生活の改善などを定め、オール大阪体制による健康づくりを推進

代表質問 上島一彦 政調会長

グローバル都市としての成長とともに、 迫りくる大規模災害にも強い大阪の実現

台風21号による被害や損害に対する支援

Q 被災した中小企業等や農業施設及び農作物の被害に対する支援策について伺う。

A 中小企業等に対するセーフティネット保証の発動などを国に強く働きかけ、支援策が決定された。これに合わせ府も通常よりも低金利の新たな融資制度を創設する。また、甚大な被害を受けた農業用ハウス等の再建が喫緊の課題であることから、市町村と連携し、農家の負担軽減を図れるよう積極的に取り組む。

大阪府北部を震源とする地震を踏まえた、災害への対応

Q 民間ブロック塀の安全対策における市町村への補助制度について伺う。

A 市町村を支援するための補助制度を創設し、府内全市町村で所有者に対する除却費の補助制度の創設を促進する。また、いち早くブロック塀等の除却に取り組まれた市町村に対しても、遡及適用してまいる。

迫り来る大規模災害等への備えと対応力の強化

Q 南海トラフなどの大規模災害に備え、西日本をカバーするハイパーレスキュー機能を備えた「大阪消防庁」の設立に向け、検討の具体化を進めるべき。

A 災害が相次いで大阪を襲い、迅速な災害対応が求められる中、救命救助を担う消防機関が機動的に、広域的に活動できる体制が必要と痛感した。府内消防は、1ブロックとして「大阪消防庁」を実現できるよう努める。

成長し続けるグローバル都市・大阪

Q G20大阪サミットの開催に向けた取り組みについて伺う。

A 府民がサミットを知り、関心をもっていただくことが重要。とりわけ、若者がサミットにかかわる取り組みや、子ども達がサミットの成果や意義等を学習する機会をつくり、国際的なダイナミックな動きに関心を持ってもらうきっかけにしたい。

日本の成長エンジン都市・大阪

Q 新大阪駅につながる北陸新幹線の早期全線開業をめざし、府が先頭に立って、国への働きかけ等を、強力に推進するべき。

A 北陸新幹線は、重要な社会基盤であり、遅くともリニア開業までに新大阪駅まで一気に整備することが必要。今後も早期全線開業に向けて、関係団体とより効果的に働きかけを行えるよう、オール大阪で推進する体制の構築など、取り組みをさらに加速させる。

子どもが輝く都市・大阪

Q わが会派の提案により設置された「子ども輝く未来基金」にご寄付を頂いた府民の志を汲み取っていただき、直接、子どもたちに提供できるものに活用するべき。

A 基金は、子ども食堂における学習教材の提供や、ひとり親家庭の子どもに対するスポーツ・文化行事などの体験活動への参加支援などに活用してまいりたい。

上島政調会長

松井知事